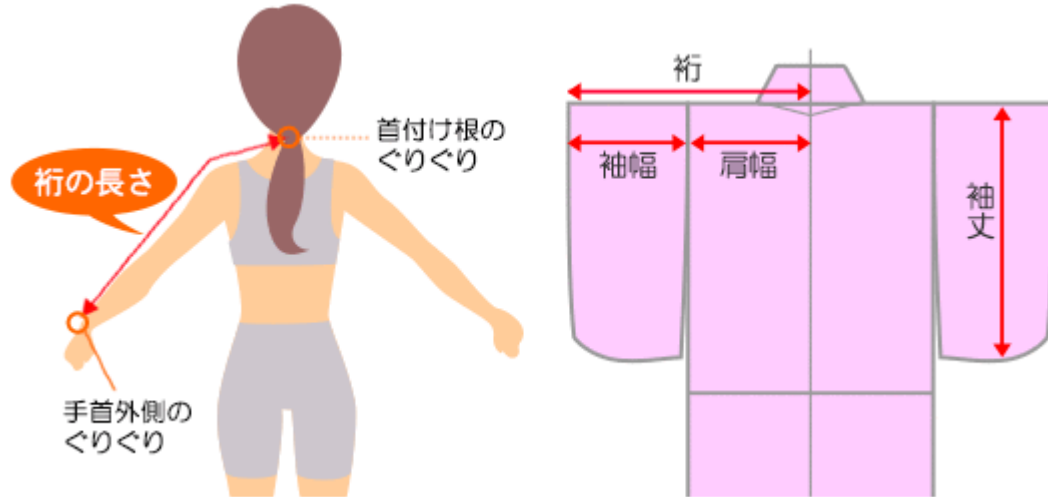


# 着物のあれこれ教えます！ 着物まめ知識

当ページでは、着物にまつわるいろいろな知識をご紹介します。

## 衿丈(ゆきたけ)の測り方

首の後ろのつけ根にあるぐりぐりから肩を通り、手首外側のぐりぐりまでの長さを測ります。  
衿丈は着物は長襦袢などを選ぶ際の基準になるので、自分のサイズを測っておくことをおすすめします。



## 女子袴の紐下丈(ひもしたたけ)の測り方

キレイな袴スタイルの基本は着物と袴のサイズ選び！  
袴は前紐の幅を含まない紐下の長さが一般的なサイズ表記です。  
みぞおちの5cm 下からくるぶしの中心までをメジャーで測ります。

## 女性袴サイズの選び方

上記の紐下丈の測り方は草履を履く際のサイズを想定しています。  
ブーツを履く時は、草履の時よりもワンサイズ短めの袴をおすすめしています。  
ブーツが少し見えるくらいの長さが可愛くキレイに見えるからです。



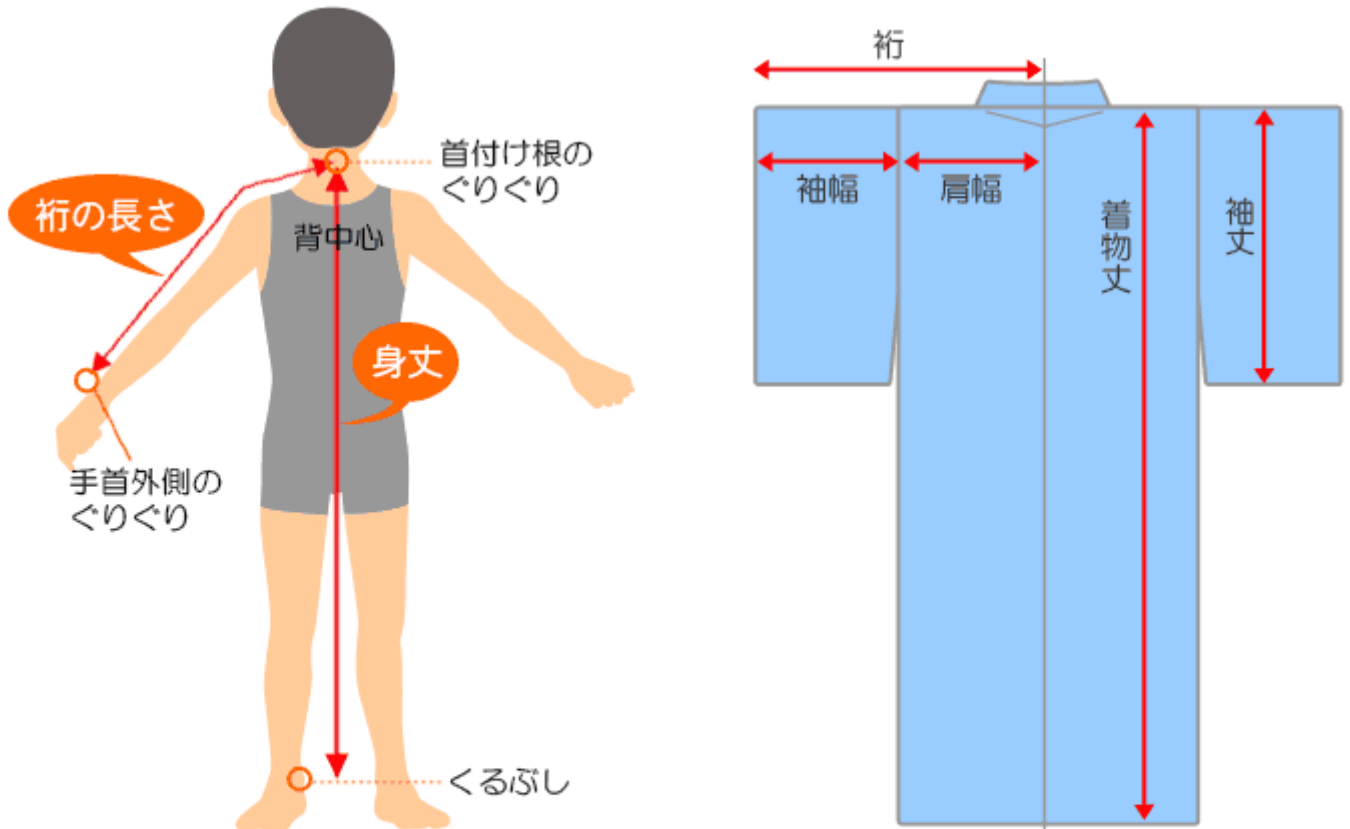
草履の時よりやや短めの丈がキレイに見えます。

## 子ども着物サイズについて

お子様の着物は、成長することを前提に大きめに作られています。

肩上げ・腰上げなどの身上げには「お子様のこれからの成長を願う」という意味があるのです。

## 男児サイズの測り方



### ◆衿サイズの測り方

首の後ろのつけ根にあるぐりぐりから肩を通り、手首外側のぐりぐりまでの長さを測ります。

### ◆身丈サイズの測り方

首の後ろのつけ根にあるぐりぐりから垂直に足のくるぶしまでの長さを測ります。

袴を履く場合は身上げ（腰上げ）でお好みに合わせて調整してください。

### ◆衿サイズの測り方

首の後ろのつけ根にあるぐりぐりから肩を通り、手首外側のぐりぐりまでの長さを測ります。これが衿サイズです。

着物の仕立上がりの肩幅＋袖幅から衿を引き算した残りの長さが肩上げ寸法になります。

### ◆身丈サイズの測り方

首の後ろのつけ根にあるぐりぐりから垂直に足のくるぶしまでの長さを測ります。これが身丈となります。

着物の仕立上がりの着物丈から身丈を引き算した残りの長さが腰上げ寸法になります。

## 袴サイズの測り方

袴は前紐の幅を含まない紐下の長さが一般的なサイズ表記です。

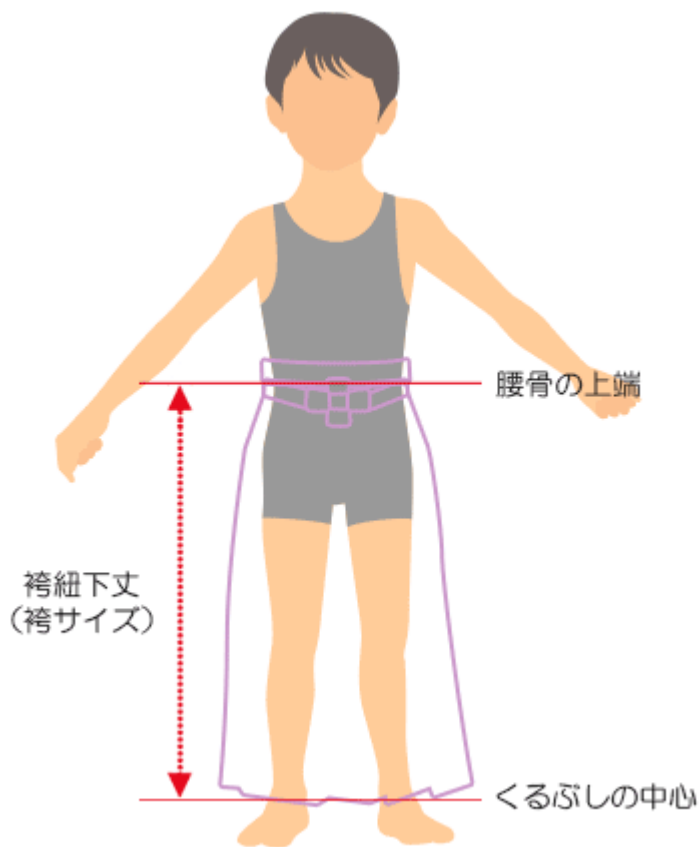
この長さを紐下丈(ひもしたたけ)と呼びます。

お子様に合った紐下丈の測り方は以下の通りです。

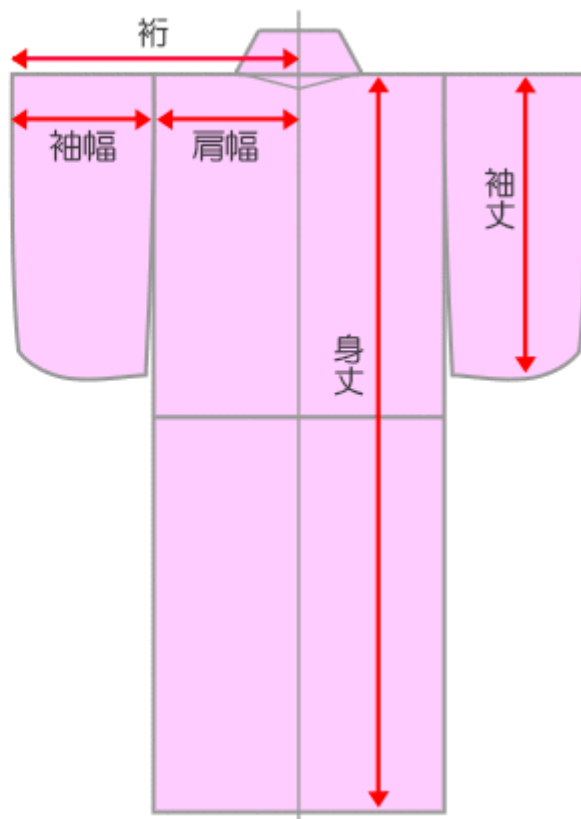
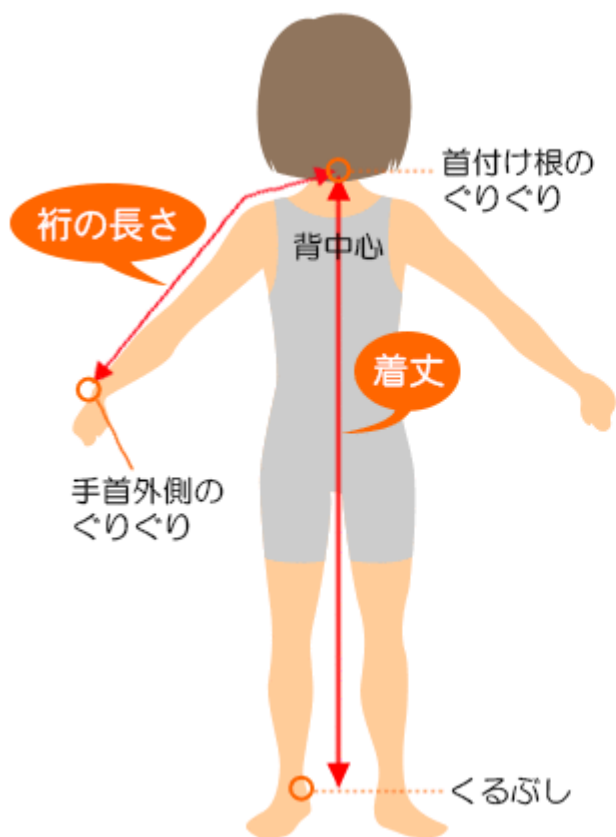
#### 1. 腰骨の上端の位置を確認する

腰骨の上端からくるぶしの中心までを測る  
※角帯は腰骨の上端にややかかるくらいに締め、袴の前紐から少し覗かせるように着付ける

上記は草履の場合のサイズの決め方です。



## 女兒サイズの測り方



### ◆衿サイズの測り方

首の後ろのつけ根にあるぐりぐりから肩を通り、手首外側のぐりぐりまでの長さを測ります。これが衿サイズです。着物の仕立上がりの肩幅+袖幅から衿を引き算した残りの長さが肩上げ寸法になります。

### ◆身丈サイズの測り方

首の後ろのつけ根にあるぐりぐりから垂直に足のくるぶしまでの長さを測ります。

着物の仕立上がりの着物丈から身丈を引き算した残りの長さが腰上げ寸法になります